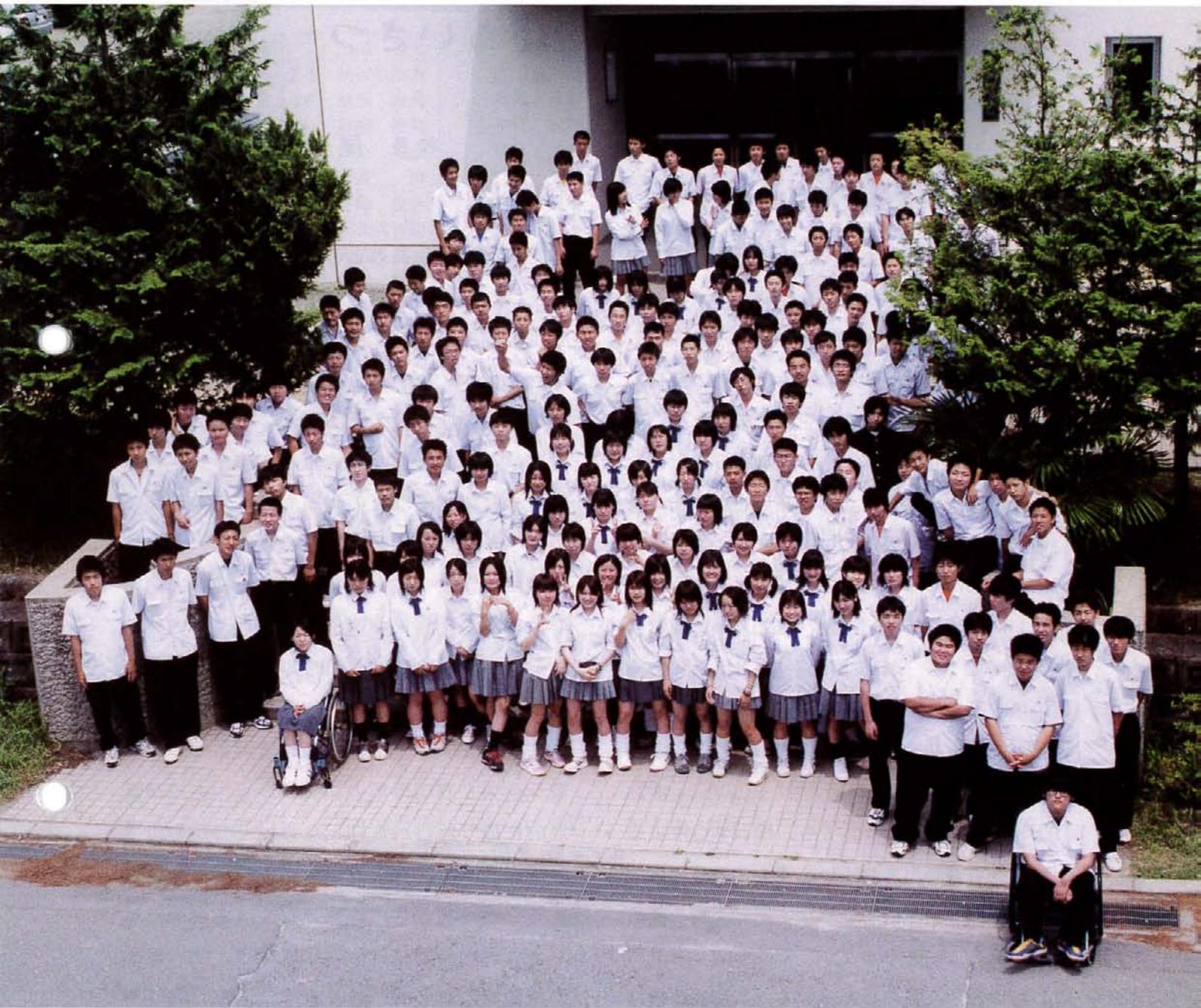


有明高専だより

第107号

2002.6



目次

校長だより	2	キャンパスクリーンデー	11
退職教官より	3	春季球技大会	11
新任教職員紹介	4・5	岱明寮だより	12
新入留学生紹介、留学生歓迎会、編入生紹介	6	卒業式 送辞・答辞	13
新入生オリエンテーション	7	卒業生 進路・表彰	14
4年生研修旅行記	8・9	学生表彰・英検合格者	15
使えるバリアフリーを目指して	10	トピックス	16
新入生歓迎行事	11	編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字は、所属クラスを表します。

数字は学年、英字は学科(M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、専:専攻科)です。

校長だより



校長就任あいさつ

校長 尾崎 龍夫

本年4月、山藤先生の後任の校長として本校に勤務することになりました尾崎です。前勤務先は、九州大学で、平成10～11年度に工学部長、12～13年度には九州大学の産学連携の窓口である技術移転推進室の室長を勤めました。

2

本年は第40回目の新入生を迎えることになりましたが、法人化を含め、高専をとりまく社会情勢も大きく変わりつつあります。これに対応するために、本校では山藤前校長を中心に、平成13年に専攻科の設置、平成14年に地域共同テクノセンターの設置、平成12年以降の施設の増改築を始めとするハード面の整備、教官の業績評価方法や予算配分方法の改善など運営面での改革を進めて来られました。またJABEE認定審査についても、検討WGによる周到な答申書が出されています。これらの成果を継承しつつ、本校のさらなる発展充実を図るため、微力ではありますが、できる限り力を尽くしたいと考えておりますので、ご支援^{べんたつ}ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

教育面の課題は、JABEE認定に向けた教育プログラムの整備、その点検・評価・改善システムの確立、小中学校の学習指導要領改訂への対応などがあります。また、専攻科は、大学における大学院に準ずる位置づけをし、その質的向上を目指すことが求められると思います。そ

のためには、他高専との連携も検討すべきでしょう。

地域連携については、学内に地域共同テクノセンター、学外に有明広域産業技術振興会、大牟田市役所と商工会議所との調整会議など産官学連携を推進する枠組みが作られ、共同研究や技術相談などの実績も少しずつ増えています。今後の課題は、研究者個々人の地域連携から学校全体としての地域連携へ、産官学連携から産官民学連携への移行、学内外それぞれへの地域連携の専門的実務担当者の配置、学外からの研究資金の増加策などが山積しています。まずは、本校がこれまで蓄積した研究シーズと有明地域のニーズから、本校が重点的に取り組むべき柱となるいくつかの研究分野を定め、研究プロジェクトチームを組織すること、各教官の研究分野や技術相談に応じうる専門分野リストの作成など、学内体制の整備を行う必要があります。また、地域連携を民まで広げる観点から、公開講座やロボットJリーグなどの位置づけも見直し、地域連携の一環とし、学生・住民参加型を強め、学内外双方向企画型への移行を目指すことはできないでしょうか。本校が住民の生涯教育に協力し、住民が本校の学生教育に協力頂く関係を作ることができればと思います。

退職教官より

平成14年3月をもって、退職された4名の先生に次の3点について述べていただきました。

電気工学科

辻 一夫 先生



A1 昭和40年4月有明高専に着任以来37年間勤務致しましたが、一番思い出に残るのは着任してから半年間、寮務主事補として寮で学生と起居を共にしたことです。当時は外灯もなく、夜は寮（若葉棟だけでした）の外は真暗で、上級生は下級生をよくおどしていましたが、カラッとしましたので、皆活々としていました。

A2 高専の5年間に有意義に過すということは大変困難なことに思えますが、目標と強い意志があれば可能であると思います。卒業するとき高専に在学してほんとに良かったと思えるよう頑張ってください。

A3 私は若い頃から歴史物を愛読していましたが、これからは学生に戻った心づもりで歴史の勉強に励みたいと思っています。

最後に、教職員の皆様と学生諸君のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

- Q1.高専でもっとも思い出に残ることは？
Q2.高専あるいは学生に望まれることは？
Q3.今後のことについて一言

一般教育科

中本 潔 先生



A1 赴任したのは雲仙普賢岳がまだ活動中のある情報棟の宮川先生の研究室からはその様子が望見できました。それまでの高校教員の経験からみて、高専の学生の学生気質みたいなものが随分違っていると感じたのが一番の思い出です。修学旅行とは違って1年・2年生での研修旅行もなかなか味があるものでした。

A2 貴重な財産である若さを有効に使ってもらえばと思っています。高専では学生の自由な意志をこんなに大事にしているのですから。易きに流されないように自分を大切にしてもらいたいものです。

A3 絵も描いて見たいし、関西で奈良のお寺の案内をとこちらが暇になるのを待っていてくれる親友がいます。旅もいいなあと思います。瀬戸先生と話しをしていて、見ていない映画が山ほどであると悟って、映画もいざと感じています。勤めが終わったら読むだろうと思って買い込んだ本が一杯あります。時間は残されているのでしょうか。

電子情報工学科

瀬々 浩俊 先生



A1 卒研担当（9回）とクラス担任（4回）があります。教育の中で人間的繋がりを大事にしたいと思っていましたが、学生との距離をどこにおくかは大変難しく感じていました。卒研担当とクラス担任の学生とは一番繋がりが近く、先生の間臭さが出せることであり、付き合いも長いものになります。その影響力？は、卒業したあと私を訪ねてくれた学生で少し解ります。成長した姿・態度をみて頼もしく思うとともにそのときこそ幸せを感じます。電子情報卒業生の有志による送別の席（H14/3/9）は高専最後の良い思い出となりました。

A2 本田宗一郎氏に関する本の題名だっと思いましたが、“勝手に帆をかけて”という言葉があります。何か一つ他に負けないものを作ってください。

A3 40年以上離れていた故郷・行橋で今後を過ごします。今年の1年間はのんびりとし、地域の歴史と実情を把握したあと、できれば地域に根付いたことをやって行こうと考えています。家にはLANを構築し、ADSLで外部と接続しています（メールアドレス：sese@bh.wakwak.com）。そのうちにホームページを開きますので見てください。

最後になりましたが、有明高専の教職員・学生・卒業生の皆さんの今後のご活躍を祈ります。

電気工学科

福田 浩人 先生



A1 初めての担任で苦労したけど楽しかったこと、いろんな学科の先生と仲良くなれたこと、E科演習室の設定と寮務主事室と授業に追われて二日間食事抜きで徹夜仕事したこと、その他いっぱいあってとても書ききれません。

A2 高専に対して望むことは、学生中心の学校運営です。ここ数年、校舎改修が続いて多くの学生がずっと仮教室へ押し込められていました。一度だけなら仕方がないと思いますが、これが続くのはどうかと思います。もっと学生の立場で運営すべきだと思います。学生に対して望むことは、得意分野を持つということです。これが自信につながり人間関係が広がっていくものになります。

A3 現在、株式会社ピー・ピーシステムズ (<http://www.pbsystems.co.jp/>) の技術部に勤めています。ネットワーク構築やサーバ設定を行っています。この10年でコンピュータ技術はすっかり進歩してしまいました。高専の中で学んでいなかったことがまだまだたくさんあります。これからも勉強の日々が続きます。

新任教職員紹介



電気工学科 泉 勝弘

A1 3月までは長崎大学助手大学院生産科学研究科(工学部併任)でした。工学部では電気電子工学科でした。パワーエレクトロニクスへの制御理論の応用を中心に研究していました。

A2 「おはようございます」とあいさつされてびっくりしました。大学ではこのようなことがなかったものですから。

A3 高専宿舍での庭の手入れを趣味にしようと思っています。また、日曜大工も趣味?にする必要があるようです。

A4 教育や研究に一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。



電気工学科 尋木 信一

A1 今年の3月まで、九州工業大学大学院情報工学研究科(情報科学専攻)の博士後期課程の学生でした。更に9年前はここ有明高専電子情報工学科の学生でした。

A2 私の知っているときと建物も先生方も少し変わったようですが、学校全体の雰囲気は以前と変わってないと思います。

A3 スポーツです。あと、映画もよく見に行きます。

A4 高専では、何年も前の卒業生が気軽に恩師を訪ねて来ると一つのいい光景が見られます。8年かかってやっと実現させた“有明高専に帰る”という夢、今度は私もそのような先生方の一人になれるように頑張っていきたいと思っています。



電子情報工学科 池之上 正人

A1 九州大学大学院システム情報科学府電気電子システム工学専攻の修士課程の学生でした。大学院では、制御および信号処理に関する研究をシステム同定論の立場から行っていました。今後は、引き続きその研究を行うつもりです。

A2 元気がよく、あいさつもきちんとできる礼儀正しい学生が多い印象を受けています。

A3 音楽が好きです。高校ではエレキギターを、大学ではクラシックギターをやっていました。ちなみにコンガ(打楽器)も叩けます。

A4 何もかもが初めてのことばかりで、皆さんにはいろいろとご迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思っています。



物質工学科 出口 智昭

A1 熊本工業大学大学院工学研究科(応用微生物工学専攻)の博士課程を修了後、大学で研究員をしていました。研究は発酵により生成する高分子アントシアニン色素について研究していました。

A2 初めて高専を訪れたとき、遠くから大きな声であいさつされてびっくりしました。また、高校と大学が融合したような独特の雰囲気に戸惑いました。

A3 スポーツをすることが大好きですが、観戦することも大好きです(アビスパ福岡やホークス)。

A4 教育はとても難しいことですが、一生懸命頑張っていきたいと思っています。そして、研究面もしっかり頑張っていきたいと思っています。



電子情報工学科 活田 健治

A1 NTTの研究所に勤めていました。ミリ波通信用サーキュレータの開発、シリコンや砒化ガリウムなどの半導体材料の電子物性、電子計測、超高速マイクロ波IC用高誘電体材料の研究・開発に従事してきました。

A2 高校と大学の性格を併せ持つためか、のびのびとしていて、いい印象を受けました。でも、授業のときは若干元気がないのが気になります。

A3 尺八は学生時代から。分野は古典主体に現代も。尺八作りも準備中です。また、顧問を仰せつかったテニスも時間をとって始めようと考えています。その他は、山歩き、ドライブ、電子回路作りなど。

A4 高周波回路設計分野から教育・研究機関に相応しい研究を探索して行きます。ただ、教師は初めてなので、何かとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、よろしくお願いたします。



一般教育科 山崎 英司

A1 広島大学附属高校から九州大学文学部に入り、およそ9年間の大学・大学院生活の間1920年代のアメリカ文学の研究をしていました。

A2 キャンパスが大変きれいなのに驚きました。学生さんの印象は、とにかく快活で好奇心旺盛だなどいうところですか。彼らのそういった点を生かすように知的好奇心を刺激する授業を展開していきたいですね。

A3 文学畑の人間ですが、趣味はバイクツーリングやパソコンなど機械系のものが多いです。

A4 高専を目指した一番の理由は、第一線の現場で、教育と研究の両方に携わりたいと考えたからです。その両面で早く一人前になれるように頑張ります。

本年度、新たに教官6名、職員6名の方が赴任されました。
そこで右の4つのことをお聞きしました。

- Q1. 本校に来る前は
- Q2. 本校あるいは本校学生の印象について
- Q3. 趣味は
- Q4. 抱負を一言



事務部長 古田 剛一

A1 豊橋技術科学大学からまいりました。今回の転勤直前まで、国立大学の再編・統合や法人化対応等の仕事に取り組んでいました。高専での勤務は、鈴鹿高専で一度経験しています。

A2 学生さんから「こんにちは」と元気よくあいさつされ、きびきびした礼儀正しい学校であると思いました。3年前まで勤務していた青少年教育施設のようなのです。

A3 庭の手入れ。

A4 高専も大学同様厳しい時代を迎えます。設置形態がどう変わろうとも、これを契機として更に魅力ある学校づくりに努力したいです。



用度係長 平島 洋一

A1 八代高専会計課に勤務しておりました。

A2 採用が熊本電波高専なので、3箇所目の高専となり、学生に対して非常に親しみを感じています。私自身、採用当時と比べてちょうど2倍歳をとってしまいましたが、元気のいい学生さんに負けないうファイトで頑張りたいと思っています。

A3 硬式テニスを早く再開できればと思っています。気分転換と体力づくりも大事にしたいと思っていますので、気軽に誘ってください。

A4 皆様とともに、有明高専の学生のために頑張る所存ですので、よろしくお願いします。



庶務課長 久志 昇

A1 九州芸術工科大学庶務課に勤務していました。公務員生活24年間庶務課以外の課に出たことがないので、どの課も勉強です。

A2 緑の多いゆったりとした学校だという印象です。学生はかなり年齢の幅があることと、若い学生の元気の良さが印象的です。

A3 若いときにはサッカーやバレーをやっていましたが、今ではしなくなりました。子供のダイエー応援につきあう程度です。

A4 先生方の教育に対する熱心な様子に触発されています。有明高専の職員としていささかなりともお役に立ちたいと念じています。



施設係技術職員 岩橋 道宏

A1 北九州工業高等専門学校会計課施設係に勤務していました。

A2 本校の学生さんは非常に礼儀正しくあいさつもしっかりしており、またキャンパスは緑に囲まれた雰囲気の良い学校だと思います。

A3 スポーツが好きで、前の職場ではテニスをしていました。

A4 有明高専のために少しでもお役にたてるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。



学生課長 門城 祐司

A1 島根大学大学情報室に勤務していました。平成13年4月に新しく設置された組織で、情報化の推進や学外等への各種情報発信の業務を行っていました。

A2 礼儀正しく、また表情など雰囲気がとても明るいという印象を感じました。

A3 身体を動かすことが好きで、特にバスケットボールは前の職場までずっとやっていたのですが、ジャンプ力の低下を感じ、最近ではテニスを楽しんでいます。

A4 今は、初めての高専で教わることばかりですが、一日も早くお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。



学生係学生主任 松本 千賀子

A1 熊本電波高専の学生課教務係に勤務していました。

A2 学生課の部屋の中まで“こんにちは”と大きな声が気持ちよく響いてきます。礼儀正しい学生さんが多いなと思いました。

A3 広く浅く浅くなのですが、テニスや映画、旅行等です。

A4 直接の窓口業務なので多くの方の顔を覚えて、お役に立てるように頑張りたいと思っています。



新入留学生紹介

今春、新たに1名の留学生がやってきました。自己紹介をしてもらいました。

物質工学科3年 ロンナチャイ (KLANGNARONG RONNACHAI)

私はタイの南にある町からきました。タイはインドシナ半島中央部にある王国です。平均温度は26度を越え、湿度もかなり高いので、一年中暑い国と言われます。首都は庶民のエネルギーが溢れるバンコクです。国民の大多数は仏教徒です。したがって、タイの習慣は仏教に由来するものが多いようです。タイで紹介したいのはソンクラーンという行事です。ソンクラーンはタイバラモン陰暦の新年に当

たる4月13日～15日にかけて行われます。別名“水かけ祭り”とも呼ばれています。国民にとってはとても楽しい行事です。

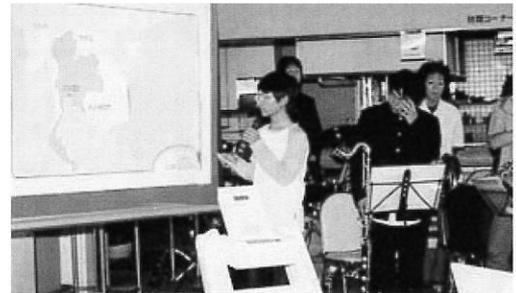
今年度から有明高専の学生として勉強することになりました。これからの3年間、しっかり頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



留学生歓迎会

今年、タイからロンナチャイ君が物質工学科3年に、新しい留学生としてやってきました。5月31日(金)に、本校修己館においてロン君の歓迎と関係教職員、学生の親睦をかねて、「新入留学生歓迎会」が催されました。新入留学生のスピーチ、在校留学生を代表して4Iフンさんによる母国紹介、吹奏楽部による演奏、学生会長の坂本君による近郊の名所案内などがあり、参加者一同楽しいひとときを過ごすことができました。

(教務主事補 南 明宏)



編入生紹介



4M 和泉 洋平



4M 一二三 弘恭



4M 増田 大典



4E 猪口 雄大



4I 濱本 照貴



4I 引田 征男



4C 高谷 一将



4C 千場 清治



4A 高橋 めぐみ



4A 針尾 香澄



4A 福田 仁

新入生オリエンテーション

4月23日～25日
阿蘇青年の家

阿蘇研修を振り返って

1M 篠崎 絵美

私は、機械科でただ一人の女子だったので、1日目から電気科の女子班に並ばなければなりません。機械科にもあまりなじめていなかった私にとって、一人だけ違う電気科に並ぶのは、とても抵抗がありました。まずは機械科の人達と仲よくなりたいと思っていたからです。電気科の女子と友達になれたし、ご飯を食べるときとか他の科にいろんな友達がたくさんできたのですが、体育館や講堂に並ぶときはやっぱり私一人だけ違う所にいて悲しかったです。

オリエンテーリングのときは、学科の壁を超えて班員の4人で一生懸命頑張りました。3人とも私と同じ科のような気持ちで接してくれて、そのやさしさが本当にうれしかったです。機械科の団長さんも、バスを降りたときとか一人だった私に話しかけて下さって本当にうれしかったです。

2日目の夜のホームルームで一人一人話しをしたときに、みんなすごく盛り上がっていて私は一人で「男子はみんな仲よくていいな、私もあんなふうになれるだろうか」とすごく不安でした。私の順番が回ってきたときに私は、「一人だけ電気科に並んでさみしかったこと、機械科はおもしろくて大スキだ」ということを話しました。そのときみんなは、盛り上がっていたのに真剣に私の話を聞いてくれました。そして、私が前に立っているときに一人が、『仲間！仲間！仲間！仲間！』と大きな声でさけび出しました。そうしたら他の人も同じ様に言ってくれました。私は笑っていましたが、本当はうれしくてうれしくて泣きそうでした。初めて自分が有明高専の機械工学科の一員になったような気がしました。それからは電気科に並ぶことも何とも思わないようになりました。

今回の研修を通して改めて私は機械科が大好きだということに気づかされた気がします。

阿蘇の研修

1I 古川 勇志郎

この3日間でたくさんのことを学んだ。学んだ中で、教務主事の宮川先生の講話はとても心に残っている。まず、高専生活における心構え、復習の重要性、時間の大切さなどを聞いた。

僕の胸中には、まだ高専の難しさや厳しさを、甘く見ていた部分があったため、それを聞いて、自分の気持ちを引き締めた。

宮川先生の話の中で一番好きだったのが、アインシュタインの言葉『想像は知識より大切』だ。微分積分を暗算できるというすごい人の格言、という理由もあるが、『アイデア』つまり『発想の転換』の素晴らしさに憧れたからである。このことを聞いて、高専生活だけでなく自分の将来のことも考えさせられた。というよりも、将来の目的が決まった。僕は高度技術研究者になりたいと思った。そのために5年間という時間を全て勉強に励みたい。そして、必要な『アイデア』を出せる人になりたい。

『解は一つではない』という校長先生の言葉もまた心に残っている。僕は、解を一つだと思っただけから考えにくいのだということに気づいた。解が他にあるのなら、アイデアを生かした一人一人の多種多様な解が出てくるだろう。

21世紀は環境の時代、すなわち人間と自然の共生の時代である。化石燃料からエコロジーな燃料への転換が必要となり、世界中の人々が真剣に温暖化、砂漠化のことを考えなければならないと思う。僕たちはそのときを担うエンジニアとして今から頑張らなければならないと思う。

この3日間、オリエンテーリングやスポーツ、友達との協力など様々なことをした。そのどれもが忘れられない思い出となり、これからの高専生活の糧となるだろう。「アイデア」、この素晴らしい言葉を身につけるために全力で勉強に取り組んでいこうと思う。そして、最終的に、将来の夢をかなえたい。



機械工学科

4M 田嶋 大輔

私たちは、中部、関西方面の研修でした。初日は、愛知県の三菱重工業を見学。航空機・宇宙機器が製作されており、運良く、試作戦闘機のフライトまで見学できました。間近で見る迫力とその爆音にはとても驚きました。2日目は、立山・黒部アルペンルート。大自然の中、なだらかなアーチを描く黒部ダムでは、大自然との共生に向けた人間の新しい営みを感じることができました。特に、エメラルド色に輝く黒部湖、数メートルもある雪の壁には大変感動しました。3日目は待望の自由研修。皆、それぞれの大阪を満喫できたでしょう。最終日は、空調で有名なダイキン工業を訪問。確立された生産ラインと社会貢献への取り組みにはとても感心しました。今回の研修で、自分の目で見たこと、感じたことをこれからの勉学の糧とし、残り少ない学校生活をクラスメイトと有意義に過ごそうと思っています。



研修所

平成14年5月14日

- M…三菱重工業(株)名古屋ダイキン工業(株)堺製
- E…(株)東芝京浜事業所、日本航空(株)羽田整備
- I…(株)東芝日野工場、日JTB情報システム
- C…東レ(株)リサーチセンダイキン工業(株)淀川
- A…海遊館、近つ飛鳥博東大寺、神戸異人館

電子情報

私達電子情報工学科は東京へ研修にきました。

まず携帯電話などを作っている東芝日野工場へ行きました。携帯電話は私達にとって身近な物なのでみんな真剣に製造工程を見学していました。小型化するために基板を6～7層にして部品をのせる技術には驚きました。次に行ったのはJTB情報システムです。



電気工学科

4E 西田 衣里

今回の研修では、本当にいろいろな経験ができたと思います。研修初日には、あのテレビでよく見かけるお台場を見学。ここでは、番組のセットに触れたり、ガラス越しにはではありませんが番組の収録を見ることができました。

2日目には東芝京浜事業所へ。ここでまず驚いたことは、敷地内にJRの駅が二つもあるという敷地の広さでした。また、普段教科書でしか見ることの

なかった発電機などの大きさにも驚きました。次に訪問したのはNHK放送センター。ここでは照明器具を見たり、実際にカメラを動かしてみたり、また映像や照明を調整している場所も見学させて頂きました。残念ながら収録現場を見学することはできませんでしたが、卒業生の方の貴重な体験談なども聞くことができ、満足のいく見学でした。3日目は一日自由行動。この日は各自電車を乗り継いでそれぞれの目的地へ。私が東京で一番苦戦したのが、この電車の乗り継ぎと満員電車だったと思います。そして、最終日には、日本航空(株)羽田整備工場へ。私達が訪問したときには、ちょうど“飛行機ドック”が行われていました。飛行機ドックという名称からわかるように、飛行機を正常に飛べる状態にしているところでした。飛行機を各部分に切り離し、塗装をしている部分、部品を交換している部分、正常な動きをしているか確認している部分などに分かれて作業が行われていました。飛行機のエンジンの仕組みや、離着陸時の翼の仕組みなど、間近で見ることができとても感動しました。

今回の研修では、本当にたくさんのものを得ることができました。訪問した3社とも、一般に立ち入ることのできない場所を見学させて頂きました。研修でなければ体験できない貴重な時間だったと思います。今回の研修で、やっと「もうすぐ私達は社会へ進出するんだ」という気持ちにさせられた気がします。今一人一人の胸の中に、将来への目標が生まれたと思います。この小さな一歩を、これからの高専生活にプラスして頑張っていこうと思いました。



日(火)～17日(金)

航空宇宙システム製作所、
NHK放送センター、
工場
本航空(株)羽田整備工場

ター、京セラ(株)本社、
製作所
物館、法隆寺、唐招提寺、

理工学科

41 竹内 一貴

JTBからアウトソーシングしてコンピュータによる予約管理システムの開発・運用をしているそうです。もしシステム障害が生じると1日100万件にもなるアクセスができなくなるため様々な対策がしてありました。最後は日本航空整備工場です。ここでは整備中の飛行機のエンジンを分解していました。安全・快適に飛行できるのは整備士の方々のお陰なのだと思いの飛行機で実感しました。



物質工学科

4C 進藤 なつみ

初日の東レでは、開発や分析を行うリサーチセンターを見学しました。聞き覚えのある単語が次々と出てくる社員の方の説明から、私たちが普段行っている実験をより深く拡大したものであるという印象を受けました。京セラでは、セラミックの歴史、製造工程や技術変遷など、幅広い分野で活躍する数多くの製品について実際に展示品に触れながら学ぶことができました。ダイキンでは有明高専の先輩方とお話ができ、私たちの様々な質問に対しご自分の体験を交えて分かりやすく応えてくださいました。

誰もが口をそろえて『不況』と言う昨今ですが、そのような印象は皆無でしたし、社員の方は意欲をもって取り組み、成長しようとするならば、その見返りは必ず来るとおっしゃいました。残すところ後一年半の高専生活をいかに過ごして行くか、考えさせられた研修でした。



建築学科

4A 林 勇樹

“百聞は一見にしかず” 研修を終えた感想はこの一言に尽きます。建築学科は京都、奈良、大阪、神戸へ建物見学に行きました。1日目は大阪の海遊館、近つ飛鳥博物館を、2日目は法隆寺、東大寺、唐招提寺の寺院等を見学しました。これらは既に授業で習っていましたが、教科書では理解しづらいところがありました。しかし実際に見ることで改めてその特徴をとらえることができました。3日目は一日中自由行動で各班それぞれ計画した場所へ行き、京都の街並みや近代の建物を見ることができました。そして、最終日は神戸の異人館を見学しました。異人館は今まで見てきた建物とは違い、出窓や暖炉など日本ではあまり見られないところがたくさんあり、とても新鮮なイメージでした。これから専門の授業がもっと忙しくなるとは思いますが、この研修で学んだことを活かしていければいいと思います。



新入生歓迎行事

平成14年4月19日(金)

去る4月19日(金)に新入生歓迎行事が行なわれました。2時間程度、1年生の自己紹介や、先生方の紹介などが行われ、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。1年生の人は、中学時代とはまた違う先輩との付き合いに戸惑うことも多いかと思います。年齢の離れた先輩との付き合いは、高専を卒業してからもずっと必要とされます。

この有明高専の生活を通して、心身ともに成長し、自分の目標を達成できるよう一生懸命努力して欲しいと思います。

(学生会会長 坂本 政徳)



キャンパスクリーンデー

平成14年4月30日(火)

去る4月30日(火)、キャンパスクリーンデーによる全校一斉清掃作業が行われました。当日は曇天ながら、午後からの授業をカットして、本科生・専攻科生および全教職員が清掃活動に汗を流しました。尾崎校長、宮川教務主事のあいさつの後、各学科・各クラスに分かれて作業を展開しました。6月からの電気工学科、建築学科の校舎改修工事のため、今年度も通常の分担区域を一部変更して行われましたが、校舎および校内がすっきりとし、生活環境がより快適なものとなりました。

それまでの数日間は天候が不順で当日も午後より天気が崩れていく予報が出されており、直前まで実施が危ぶまれましたが、雨もなく清掃作業は順調に終了しました。参加者全員の協力により、約2時間ほどの作業で校内が一段ときれいになりました。次回は9月2日に予定されています。

(教務主事補 南 明宏)



春季球技大会

平成14年5月30日(木)

先の5月30日(木)、春季球技大会が行われました。前日の雨が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ絶好の天候で球技大会を行えました。今年はいつにもまして番狂わせ続きで、下級生の活躍が目立ち、最優秀クラスは1Aという結果でした。冬季大会ではこれ以上の活躍を期待しています。

(体育局長 5A 江島 大輔)

春季球技大会成績

総合優勝 1A

種目	優勝	MVP
バレー	5 E	野中征二
ソフトテニス	3 I	釘野貴史
卓球	1 A	松延良枝
女子バレー	1 A	上杉名央
ソフトボール	4 E	泉達也



岱明寮

(1)寮生指導者研修会 in 柳川

4月4日(木)・5日(金)、本年も柳川カンポの宿で寮生指導者研修会を行った。寮生会役員とスタッフで、これからの寮運営についてじっくり時間をかけて協議し、各自自分のやるべきことを確認するとともに、指導者としての認識を深めることができた。



(2)入寮式 4/9(火) 12:00~

男子36名、女子16名の新入生、6名の4年編入生、1名の3年留学生の合計59名を新たに迎えて入寮式が視聴覚教室で行われた。初めての寮生活に対する希望と不安を胸に全員元気よく新生活のスタートを切った。

(3)新入寮生歓迎夕食会

4/11(木) 18:00~

関係の先生方へ出席いただき、新入寮生の歓迎夕食会が食堂で行われた。校長先生の歓迎の言葉のあと、新入寮生の元気な自己紹介があり、雰囲気も和やかに無事終了した。



規 則 寮 訓
友 愛 調 査
協 助 任 務
清 潔 健 康

(4)寮生球技大会 4/20(土) 9:00~

39回目の開校記念日のこの日は、朝からあいにくの雨。恒例の球技大会は室内で行うこととなった。出身地別にチームを作り、男子はバレーとバドミントン、女子はビーチバレーを行った。バレーが早く終了したため、バスケットをするなどして、1年から5年生まで楽しく汗を流した。



【今年度重点目標】

今年度の岱明寮重点目標が、寮長 今村英樹君(5E)の発案により、次のように決定した。

“思いやりのところ”

《岱明寮近況》

14年度から、女性教官による宿直が始まりました。週に1回程度ですが、これまで行き届かなかったこまやかなケアにより、女子寮生の生活や勉強面での充実が期待できます。

施設面では、まだ更新が終っていなかったが食堂のテーブル・椅子全て新しくなりました。また、若葉棟に立派な自転車小屋ができました。これで、寮生の自転車も、雨に濡れることなく駐輪できます。

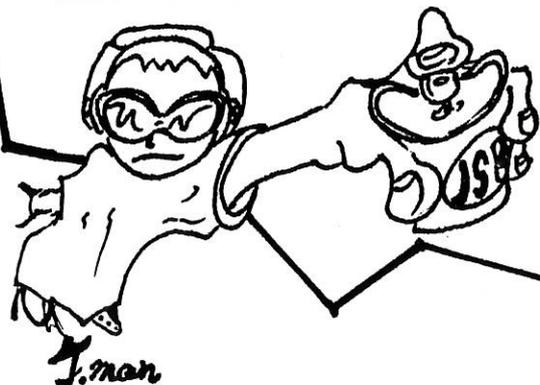
また、食堂が西日本フードサービス㈱に替わりました。



若葉棟自転車小屋



青葉棟自転車小屋



卒業式

平成14年3月18日(月)

送 辞

在校生代表 坂本 政徳

冬が終わり、新しい春の季節が訪れ、あたりには新しい木々たちの息吹、そして、新しい生命で溢れています。そしてここには、新たな旅立ちを目前にし、溢れんばかりの力強さを秘めた卒業生のみなさんがいらっしゃいます。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表しまして心よりお祝い申し上げます。本日はこの澄み渡る空のもと、みなさんを送ることができ誠に嬉しく思います。

みなさんは、卒業式という高専生活最後の晴れ舞台に立たれているわけですが、みなさんのこの5年間で一番思い出になったこととは何でしょう？

チームのため、自らのため、汗を流し、頑張ってきたクラブ活動、クラスが一つになり優勝を目指し、練習を重ねた球技大会、いろいろ思い浮かべることがおありでしょうが、私の中でみなさんとの一番の思い出は今年度の体育祭です。

私は運営の仕事をし、体育祭を見守らせてもらって

いましたが、体育祭の成功は一重に卒業生のみなさんの立派な統率力、行動力、そして体育祭当日のみなさんの戦陣切ったの活躍によるものだと思います。全身全霊を込め競技に挑むその姿に感動を覚えました。

また、みなさんはとても礼儀を重んじる方々だと思っております。みなさんのそのような立派な態度は、これから社会で生きていかれる上でとても大事なことだと思います。

私たちは尊敬できるみなさんをお手本に、これからもこの有明高専で頑張っていきたいと思っております。是非、そんな私たちを見守っていて下さい。そして、この学校で学ばれた事を、この学校で成し遂げられたことを誇りとし、私たちの先を力強く歩いて下さい。それがみなさんとの別れの寂しさを和らげ、私たちの未来の励みにもなってくれます。

みなさん、今日まで誠にありがとうございました。

みなさんの今後のご活躍を願い、これを送辞とさせていただきます。

答 辞

卒業生代表 葛城 卓史

草木も芽吹き、春の訪れを感じる今日の良き日に、私達は晴れて卒業式を迎えることができ、この上ない喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。校長先生の告辞、来賓の方々のご祝辞や後輩からの温かいお祝いと激励の言葉をいただき、新たな世界への旅立ちを実感するとともに、この有明高専で生活を共にしてきた人々との別れの寂しさを感じています。

5年前の春、私達は大きな希望に胸を高鳴らせ、それぞれの想いを胸にこの有明高専に入学しました。今こうして5年間を振り返ってみても、入学したのがつい最近のように思い出され、時間の流れの早さに驚かされます。

私達はこの5年間に多くの出会いを経験しました。入学当時、右も左もわからなかった私達にたくさんの先輩方が優しく、そして時には厳しく、様々なことを教えて下さいました。また、多くの先生方と出会い、授業だけではなく多くのことを学びました。すべてのことが新鮮で、少し戸惑いながら過ごした低学年の頃の生活が、今でも鮮明にそして、懐かしく思い出されます。

4年生になると、制服から卒業し、上学年としての新たな生活が始まりました。それは、低学年での生活とは違い、本当に忙しいものでした。毎日の多忙な生活の中で、進路についての話を耳にするようになったのもこの頃からでした。そして、5年生となると、それぞれの進路が決まり始め、この学校での生活も残りわずかなのだなとよく考えるようになりました。

今日まで有明高専で過ごした5年間は、とても短い時間でしたが、本当に充実した時間でした。体育祭、高専祭、部活動などの学校行事は、学年を問わず多くの人達と協力し合うことで私達を大きく成長させてく

れました。これらの経験は私達の大きな財産になることに違いありません。

そしてもう一つ、私達にとっての大きな財産は、多くの友との出会いです。落ち込んだときは励まし合い、嬉しいときは喜びを分かち合える最高の友がいたからこそ、今日の日を迎えることができたといっても過言ではありません。高専の生活の中で、私達は友の存在の大きさを実感し、一つ一つの出会いの大切さを学びました。

私達はこれから自分の信じた道を歩き出します。就職する人、実家を継ぐ人、大学へ進学する人など、それぞれが自分の道へと進んでいきます。その道は、まったくの未知のものであり、幾度となく困難に直面することになるでしょう。しかし、高専生活を通して経験したことや学んだことは一人一人違うと思いますが、今日までの5年間がどんな困難にも負けない私達の大きな力になることと確信しています。

在校生の皆さんは、自分自身を見つめ直し、悔いの残らないような高専生活として下さい。そして、これまで築き上げられた有明高専の伝統を受け継ぎ、よりよい学校を築いていって下さい。

本日をもって私達は有明高専を卒業します。これからは、この有明高専で得た大きな力を胸に、そして、有明高専の卒業生という自覚を持って、これから始まる新しい世界へと進んでいきます。どうか今後とも御指導を頂きますようお願い致します。

終わりに、私達の歩みを助け、御指導頂いた校長先生をはじめ、教職員の皆様、共に歩み力となってくれた在校生の皆さん、私達の成長を見守り続け常に見方となって下さった保護者の皆様に、感謝の意を述べ、答辞と致します。

卒業生

進路

機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	物質工学部	建築学科
日本鑄鍛鋼(株) 九州松下(株) 西日本プラント工業(株) 三菱化学エンジニアリング(株) セイレイ工業(株) 京セラ(株)川内工場 日本ガイシ(株) ダイキン工業(株) (株)テクモ 九州オーエム(株) マツダ産業(株) キャノンシステム&サポート 東芝エレベータ(株) 旭精機(株) (株)富士通九州システムエンジニアリング キャノン販売 トヨタ自動車(株) 防衛庁(海上自衛隊) SONY EMCS(株)瑞浪テック 有明高専専攻科 九州工業大学 島根大学 熊本大学 豊橋技術科学大学	西日本警備保障(株) ドコモエンジニアリング九州 コンピュータコンビニエンス 明電エンジニアリング(株) 安川エンジニアリング(株) 九州松下電器(株) (株)久電舎 (株)NTTファシリティーズ (株)前川製作所 (株)キャノン 日本電子(株) 日本放送協会 NECインフロンティア(株) 京セラ(株)川内工場 東芝電気サービス(株) 京セラ(株)国分工場 (株)ティー・エス・ジー 中部電力(株) 三菱スペース・ソフトウエア(株) 山武ビルシステム 三菱電機ビルテクノサービス(株) サンリツオートメーション(株) 富士通サポート&サービス 日本大洋海底電線(株) 有明高専専攻科 佐賀大学 熊本大学 長崎大学	(株)シティアスコム ムラテック販売(株) 東日日立電子サービス(株) 日信電子サービス(株) サン情報サービス(株) キャノンシステム&サポート(株) 財務省印刷局 (株)荏原九州 日本放送協会 富士通サポート&サービス(株) 有明システム(株) 東芝エレベータ(株) E S 東芝エンジニアリング(株) 熊本ゼロックス(株) 荒尾シティブラン(株) 伊藤忠テクノサイエンス(株) 有明高専専攻科 九州工業大学 熊本大学 佐賀大学 電気通信大学 アミューズメントメディア総合学院	有明環境整備公社 トステム 大日精化工業 京セラ 三共 ダイキン工業(株) 中外製薬(株) (株)東レ HOYA 第一紡績(株) 小川香料 塾講師 有明高専専攻科 熊本大学 佐賀大学 豊橋技術科学大学 愛媛大学 宮崎大学 長岡技術科学大学 アミューズメントメディア総合学院	福岡空港ビルディング(株) (株)インフォグラム 九鉄工業(株) FU設計 松尾建設(株) 住友不動産(株) (株)竹中工務店 西松建設(株) 山本設備工業(株) (株)アダル YKKアーキテクチュラルプロダクツ(株) 平設計事務所 三菱化学エンジニアリング(株) (株)ライフハウス 大牟田市役所 (有)福岡構造 (株)若久工務店 (株)九州不動産鑑定所 トステム(株) 有明高専専攻科 熊本大学 九州芸術工科大学 鹿児島大学 宇都宮大学

表彰

成績優秀者

M 志賀 崇 E 釜田 康次 I ラハト カビル C 三浦 志穂 A 神谷晋太郎

学会表彰

日本機械学会 電気学会 電子情報通信学会 日本化学会 日本建築学会
 島山賞 九州支部長賞 九州支部長賞 九州支部長賞 九州支部長賞
 M 新開 隆史 E 新庄 信博 I 武末 彰 C 水間 歩 A 神谷晋太郎

5年間皆勤賞 (卒業に至るまで、授業・SHRとも欠席、欠課、遅刻及び早退が皆無の者)

M 井寺 亮 M 田上 晋也 M 原田 浩二 E 釜田 康次 E 古賀 隼平
 E 近藤 晴泰 E 近藤 洋平 I 山鹿 敏臣 A 古賀 美啓

5年間精勤賞 (卒業に至るまで、授業の欠席日数が5日以内で、かつ、SHRの欠課あるいは遅刻が30回以内の者)

M 今任 涉 M 甲斐 隆嗣 M 新開 隆史 M 武田 大樹 M 田中 優至 M 堤 一起
 M 永原 秀樹 M 松本 和仁 M 水田 義之 M 龍 貞憲 E 大佐古勝司 E 川口 健介
 E 新庄 信博 E 砂川 武史 E 瀬戸 達也 E 中村 武 E 中村 勝 E 永野 裕己
 E 橋口 正 E 古江 陽光 I 竹 祐二 I 豊田麻梨子 I 藤丸 大輔 I 山崎 琴望
 C 奥村 孝太 C 武田 俊介 C 水間 歩 C 森島 孝臣 A 神谷晋太郎 A 久留見友治
 A 奥蘭加奈子 A 中司 智子

学 生 表 彰

1年間 皆勤賞

()内の数字は精勤者数

1 M 15 (11)	相浦 一博	1 I 26 (8)	山田 将大	永松 碧 原 美沙希 東原さゆり 平岡 巳枝 堀 浩士 宮辺 純 森田那央子 湯川明希奈 芳村 彩香	森 一樹 吉田 佳奈 阿波 卓弥 石田 泰宏 梶原 啓治 川越 秀俊 都甲 憲二 山口 佳 吉富 千恵 杉野 洋子	江口 剛 久保田論司 小堀 聖 田嶋 大輔 原崎 孝央 松尾 真也 吉川 耕平	廣畑 好章 古田 浩一 福山 千佳											
	伊藤 幸紘		秋吉絵梨香					2-2	3 E	4 M								
	上原 亮		池島 直貴					8	9	10								
	梶村 康文		石橋 絵美					(15)	(7)	(8)	(8)							
	久保山かおり		井上 徹也									2-3	3 I	(10)				
	古賀 丈士		浦邊 章									8	10					
	小森 圭		遠藤 優介									(8)	(6)		(9)			
	後藤沙衣子		大久保智聡													2-4	3 C	
	千葉 祥治		大曲 新矢													12	9	
	塚本 光二		落田 将太													(6)	(5)	(9)
	津留真一郎		川崎 誠															
時津 尚弘	川原 智史	5	6															
中島 優作	清島真理子	(7)	(7)	(2)														
松原浩太郎	堺 研一郎				3 M	(5)												
森 翔太郎	境 健司				10													
1 E 24 (7)	秋富 裕紀				1 A 21 (7)		有吉 利礼	2-5	3 A	4 E								
足立 憲亮	田島 寛之				(7)		(6)	(6)	(10)									
伊藤 靖浩	鶴岡 智紘									2-1	3 I							
岩 亜紀征	中ノ森 亮									10	10							
金栗 幸星	西 俊哉	(16)	(7)	(9)														
茅島 光司	福山 大輔					2-2				3 C								
黒田 朋義	福吉 泰樹					5				9								
古賀 優	松永 剛幸					(16)				(7)	(2)							
古賀 直也	森 裕生											3 M						
越岡 俊介	山口美菜子											10						
酒井 陽兵	山村 太士											(1)	(5)	(2)				
塚本 頌太	龍 裕滋				1													
徳永 龍哉	阿津坂 隆				(1)		(5)	(2)										
豊福 大騎	江副 由佳	1																
長野 友彦	遠藤 久美	(1)	(5)	(2)														
野田 大道	北野麻里子					1												
肥後 智也	木下 佳美					(1)			(5)	(2)								
福田堅志郎	國崎華奈子										1							
福山 翔	塩崎秀二郎				(1)		(5)	(2)										
増尾誠一朗	塩満さやか	1																
益本 真二	鳥巢 友希	(1)	(5)	(2)														
村野 達哉	中島 梨江				1													
山口 雅史	中村 仁美	1	1	1	1													

平成13年度 第3回 実用英語検定試験合格者

本校は、3年連続で昨年度も、日本英語検定協会から奨励賞を受賞しました。これは、実用英検に積極的に取り組み、教育の一環として実用英検を意欲的に活用した団体に与えられる賞です。

なお、英検3級、準2級、2級合格者数は、昨年度は、全体でそれぞれ13名、53名、1名でした。本年度も学生諸君がさらに一層、英検にチャレンジすることを期待します。

第3回合格者リスト (学年学科は平成13年度時) 準2級

- 1 A 廣松祐弥 (1名)
- 2-1 喜多綾香、渋谷泉帆、白石絢子、福田雄大、吉田佳奈 (5名)
- 2-2 宮田俊介 (1名)
- 2-3 荒木祐輔、井形史朗、坂上直子 (3名)
- 2-5 折小野聖 (1名)
- 3 E 大野剛史、橋本知栄 (2名)

トピックス

～交通安全を願って～

昨春交通事故で亡くなった太田慎二君（当時建築学科2年生）のご両親が来校されて、高専生がよくお参りに来てくれますと感謝の気持ちを述べられ、役立てて下さいと金一封を寄付されました。慎二君は、有明高専が見える甘木山墓地に安らかに眠っているそうです。きっと二度と事故を起こさないようにと皆さんを見守ってくれているに違いありません。

在校生の皆さんはバイクおよび自転車置場の入口にある「祈りの楊梅（やまもも）」に気付いていますか。昭和55年に3名の学生が死亡した踏切事故をはじめ事故で亡くなった学生への祈りと、高専生の交通安全を願って植栽されたものです。

皆さんは多くの人達から見守られているのですよ。安全運転を心がけ、事故を起こさないよう、事故に遭わないよう注意しましょう。



編集後記

今年度は混合学級がスタートして2年、そして専攻科が発足して1年が経過し、本科・専攻科ともに全クラスが発足した年度となりました。一方で建物・施設についても狭隘教室の解消、専門学科棟の改修が進みました。さらにバリアフリー構造に改築されて、体の不自由な人も健常者も一緒に学べる学園となり、教育に関するハード面・ソフト面が充実してきました。この充実した教育環境のもとで全学生が勉学に部活動に励むことが可能となり、高専の歴史に新しい1ページが加わりつつあることを実感します。

有明高専だより 第107号

平成14年6月20日発行

編集：有明高専広報委員会
発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861(学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>